

JA しまね びより

2025
9

September
Vol.114

Shimane
Biyori



特集 令和の米騒動から見る農業の今



YouTube



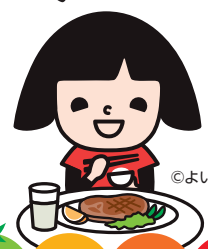
Instagram



LINE



SNSで旬な情報を
投稿しています



©よい食P



農業のために 地域のために 明日のために
JA共済の
地域貢献活動



JALしまね 隠岐地区本部版

J Aしまね島根おち女性部

副部長 寺内 洋子さん(74歳)

坂田マチ子さん(76歳)

沖田久美子さん(64歳)

今月は島根おち地区本部。管内でケイトウ栽培に取り組んでいるJ Aしまね島根おち女性部の副部長・寺内洋子さん、坂田マチ子さん、沖田久美子さんにお話を伺いました。



「幸せの4K」のケイトウ栽培を開始

島根県の中央から南部にかけて美しい里山が続く江津市(桜江町)と邑智郡。この地で、鮮やかなケイトウの花を咲かせ、地域に活気をもたらししているのがJ Aしまね島根おち女性部の皆さんです。

以前から地区本部管内の各地域で、女性部はそれぞれの活動を行っていました。「農業を通じて地域に貢献したい」という思いから、活動の基軸を営農に一本化。当初は、キュウリやナスといった野菜作りに取り組んでいましたが、部員の高齢化により重い野菜の収穫や出荷の作業が辛くなり、さらにサルやイノシシによる鳥獣被害に悩まされ、離農する部員が増えていました。

そんななか、2012年にJ Aの営農指導員からケイトウ栽培を提案されました。ケイトウ栽培は「幸せの4K」といって、花が「きれい」で、サルが「こない」、収穫作業が「かるい」、そして「かせる」という4つのKが魅力です。女性にとって取り組み



7月下旬に行われた目合わせ会では、出荷する際の注意事項や規格などについて確認

やすいことが決め手となり、新たに挑戦することになりました。当初は全員が初心者。営農指導員が畑の作り方から栽培方法、苗の植え方まで丁寧に指導し、なんとか出荷できる状態まで育てることができました。寺内さんは「最初はおんぶに抱っこ」で。一から教えてもらいました」と、当手を振り返ります。

島根おちのケイトウは 高品質で人気

島根おちのケイトウは、県内でも早くからブランド化が進み、栽培を始めて2、3年目には「島根おちの花は良い」と県外の市場から高い評価を得てきました。これは、

J Aの熱心な指導と、それに真摯に応えようとする部員の皆さんの二人三脚の努力によるものと言えます。

毎年出荷シーズン直前に行われる「目合わせ会」は、生産者



現地指導会の様子。
徹底した巡回指導はブランド化が進んだ理由のひとつ



ケイトウの生育状況を確認する沖田さん

にとって貴重な機会。広島から市場の担当者に来てもらい、産地ごとの特徴や、市場での需要について情報を共有してもらいます。現在、市場での取り扱いが徳島、福岡、島根の3つの産地が中心であり、そのなかでも、島根おちのケイトウは品質が良く、花屋にとっても人気があると説明がありました。

市場のニーズは主力の赤いケイトウに加え、オレンジやピンクも高くなっているそうです。しかし、ピンクは茎が平たくなりやすいなど難しい点も多いといえます。それでも、市場の声に応えようと、皆さんは品質を保ちながら、新たな品種の栽培にも挑戦し続けています。

試行錯誤の連続！

高品質を支える細かな気づかい

「仲間がいるから続けられる」と、女性部ならではの温かい協力体制がケイトウ栽培を支えています。栽培は、それぞれの家の畑で行われますが、共同での種まきや現地指導会、出荷目の合わせ会などを行い、環境や条件は違えど、互いに情報交換したり、勉強会をしたりすることで、課題を乗り越えてきました。

ケイトウを育てる上で、最も苦労するのが天候です。特に今年は記録的な猛暑。畑を覆うマルチが焼けないよう、寒冷紗（日よけ）をかけするなど、細かな対策が欠かせません。「花の咲く時期がそろわない時や、出荷できる品質にならない時は、やは

り辛いですね」と坂田さん。また、寺内さんも、「最初は同じ畑で連作すると良くないと言われ、場所を変えてみたところ、なぜか花が大きくなりすぎて台風で倒れてしまった」という苦い経験もありました。

それでも、JAの営農指導員に相談したり、試行錯誤を重ねたりすることで、問題を乗り越えながら、今年で14年目を迎えます。

花の美しさに魅せられ、

地域を彩る喜び

ケイトウ栽培を続ける理由を尋ねると「花の色に魅せられて。それだけです」と寺内さんは笑顔で語ります。坂田さんも「花が咲いたら、しばらく見ていられるんです。腰が痛くても、花を見ると癒されますね」と話し、栽培や収穫の大変さがありながらも、長年続けてきたことに誇りを感じています。

収穫したケイトウは、出荷の他に、お盆の時期に近所の方におすそ分けしたり、公民館に寄贈したりすることもあるそう。寺内さんは「お墓にどうぞ」と渡すと、皆さんが生けてくれるのが本当に嬉しくて」と、自分の育てた花で地域を彩ることに喜びを感じています。

品質を守り、未来へつなぐ

現在、定期的に出荷を行う部員は7、8人ほどに減少。しかしJAは地域の農業団体である島根おちの花き部会「しきの会」



ケイトウ栽培を続ける理由を笑顔で話す寺内さん

や個人の生産者にも声をかけ、生産を続けられるよう努力を重ねています。目標は現状維持。「体調が悪いと思ったら無理しないこと」と語る寺内さん。現状を維持していくにはまず、体を大切に、無理せず農業を続けることが何よりも重要だといえます。

高齢化の課題は大きいものの、邑智郡邑南町では「アグサボ隊」という県外から農業研修生を受け入れるなど、若い世代への引き継ぎも行われています。

島根おちのケイトウは、広島や岡山、そして島根の市場へと出荷されています。これからも、島根おち女性部が大切に育てた美しいケイトウの花々が、地域の人はもちろん、その花を手にした人々の心を彩り、喜びを届けてくれることでしょう。



ケイトウが咲き揃う沖田さんの圃場

島根おちのケイトウ

花色がきれいで長く楽しむことができるケイトウ。島根おち地区本部では、試験的に植え付け時期をずらし、お彼岸に向けて出荷することに挑戦しているそう。まだまだ出荷が続きますのでぜひ手にとってみてくださいね🌸



プチっと情報！

騒動から見る

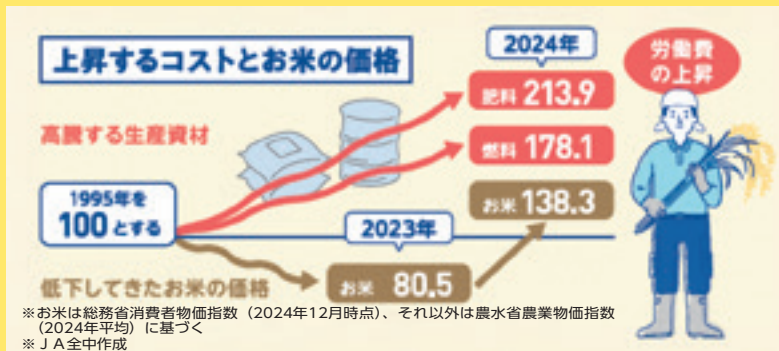
の今

背景

2

生産コストの上昇

農畜産物の生産に必要な肥料や燃料などの生産資材が高騰し、そのまま高止まりしています。一方で、お米をはじめとした農畜産物の価格は、その上昇したコストを十分に反映させることができていませんでした。農業現場はかつてない危機的な状況に直面し、将来にわたって安定的な食料生産ができない状況になりつつあります。



生産コストを反映した「適正な価格形成」に最も必要なことは？

今年6月に「食料システム法」が制定されるなど、取引価格への生産コスト反映に向け動きが出始めています。しかし、農業は食べてもらえる消費者の皆さんがいてこそ成り立つ産業です。価格を上げることで消費者離れが進んでしまっては意味がありません。そのため、適正な価格形成には消費者の皆さんの理解が最も欠かせないもののなのです。

そのためにも、J A しまねは食の未来や島根の農業を守っていくため、「食」と「農」に関する理解醸成や行動変容を促す活動に引き続き取り組んでまいります。

このままでは
農業を続けられないよ

お互いにとって
理解のある価格

毎日食べるものだから
安い方がいいなあ

適正な価格

J A しまねの取り組み

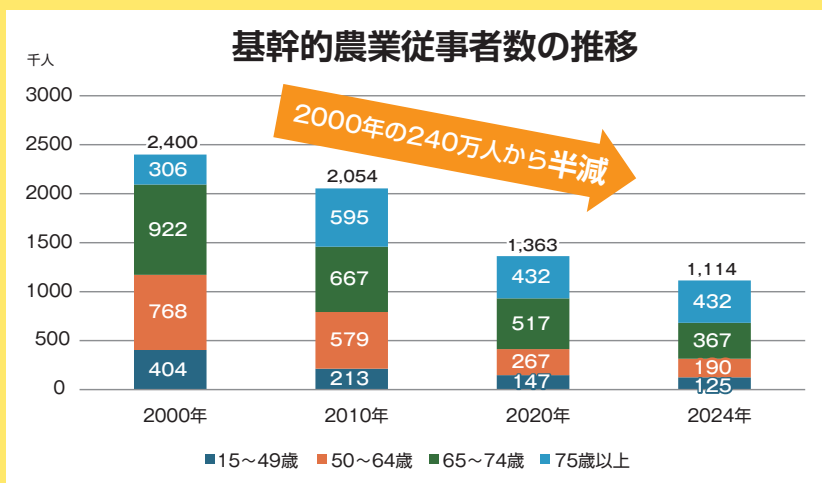
J A しまねではこういった背景から、生産資材コスト低減対策、異常気象に対応した営農指導などさまざまなことに取り組んでいます。

また、今回の令和の米騒動では、全国的な米の供給不足に加え、JAグループへの米集荷率が下がったことで取引先卸売業者などへの安定供給が難しい状況に陥りました。安定供給は価格の安定に直結するため、J A しまねでは今まで以上に役職員が一丸となった集荷運動に取り組み、安定供給を目指しています。



背景 1 農業生産力の弱体化

農業を主な仕事とする基幹的農業従事者の数は約20年で半減しており、2000年の240万人から2024年は約111万人にまで減少。また、高齢化が進み、65歳以上は79万9千人と全体の71.7%を占め、平均年齢は69.2歳となっています。これらの理由から、農地の維持などが難しくなり、耕作面積は1961年のピーク時の609万ヘクタールから約182万ヘクタールも減少しています。



出典：農林水産省「令和6年度 食料・農業・農村白書 概要」

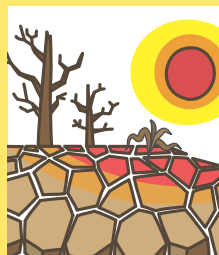
(https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/r6/zenbun.html#tokusyu2) をもとに作成

出典：農林水産省「農林水産基本データ集」(<https://www.maff.go.jp/j/tokei/sihyo/index.html>) をもとに作成

令和の米農業

昨年、日本を揺るがした
価格問題はしばらく続く
その背景には日本の農業
状況があるのはご存知
その背景を解説して

背景 3 多発する自然災害や異常気象



その年の天候によって価格が左右されやすい農畜産物。近年、自然災害の件数・被害額は増加傾向にあります。また、猛暑や豪雨などの異常気象、温暖化による害虫の増加などの影響で農作物がうまく育たず収穫量が大きく減ってしまいます。特に今年は渇水や異常な高温が農作物に大きな影響を与えています。



10月、11月は国消国産月間

「国産」を食べて、農業を応援しよう! JA直売所キャンペーン2025



JA直売所を訪れて47都道府県とおきの3000円相当の農畜産物・加工品を当てよう! 合計14,100名様に当たります!

期間: 2025年10月1日～11月末日

島根県ではJA直売所やAコープなど合計42店舗がキャンペーンに参加しています!

ぜひこの機会にご利用ください😊🌟

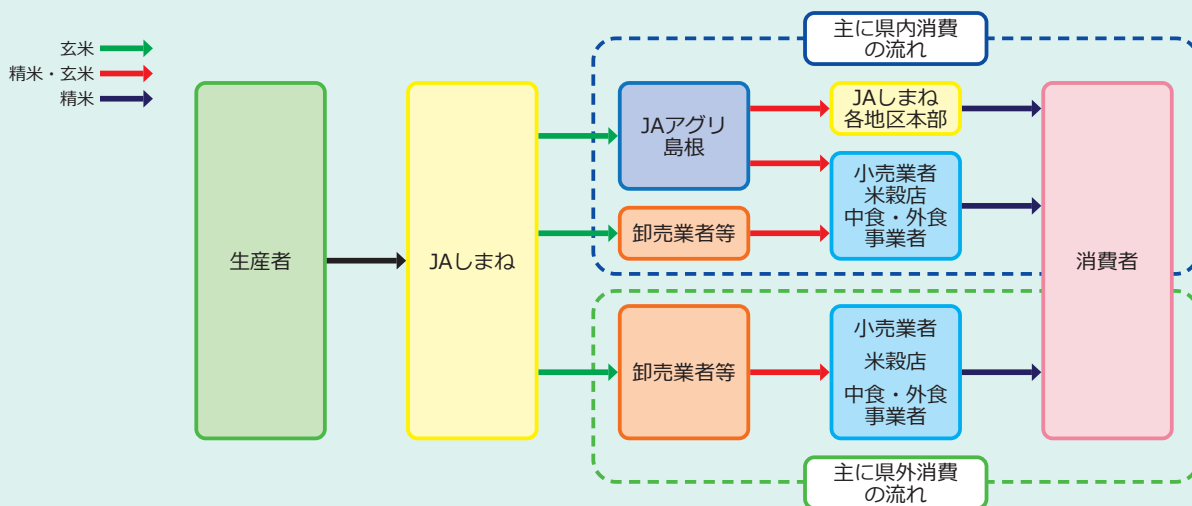
厳しい状況にある農業現場にとって、皆さんが国産・島根県産の農畜産物を選んで食べていただくことが何よりも応援になります🔥

賞品については特設サイトをご覧ください。JA直売所の検索もできます。
※特設サイトは9月16日からご覧いただけます。



お米の流通について

ＪＡしまねは生産者の皆様からお米を集荷し、主にＪＡしまねからの販売先であるＪＡアグリ島根・卸売業者において玄米から精米にしてその後、消費者へ販売されます。



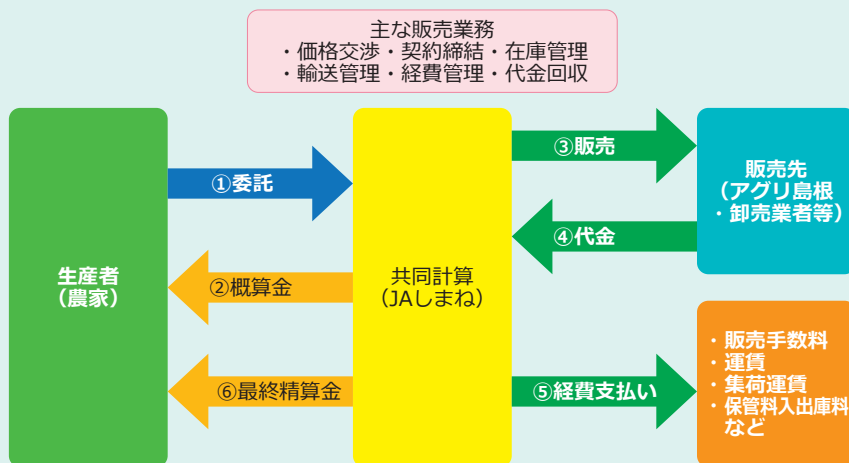
JAしまねの行っている委託販売・共同計算とは？

JAしまねの米の取扱い、多くが委託販売・共同計算の手法をとっています。

委託販売は、受託者（JA）が委託者（農家）に代わって、価格交渉から代金回収までの販売業務を行い、得られる代金を委託者に精算する仕組みです。

共同計算は、ＪＡが生産者から販売委託された米穀について、共同で一年以上の期間を通じて販売するため時期別に変動する価格や経費をプールした上で、全体の集荷数量で割り返して計算することで収益を公平に分配し、生産者間の手取り額を平準化する仕組みです。メリットはＪＡが高く販売できた場合に追加金や、販売後の最終精算金を生産者へ精算できる点ですが、最終精算金のお支払いはすべての米が販売された後に行うため、翌年の10月以降となります。

※追加金については状況によってはお支払いできない場合があります。



販売手数料の改正について

J Aしまねの米穀事業を継続し、島根米の販売力を高めるために令和7年産より「うるち米、もち米、酒造好適米」の販売手数料を490円/60kg（税別）から620円/60kg（税別）へ改正いたします。

農業の現場から声をつなぐ

～ふれあい訪問記～



今回の
訪問先

J Aしまね雲南地区本部管内

●三井野原花卉協議会 ●農事組合法人中国牧場



同協議会の白川英夫さんのハウスを視察



同法人の牛舎を視察



三井野原花卉協議会は、現在7人でトルコギキョウを中心に花を生産。同協議会の花卉はその品質の良さから、関西や中国地方、県内など多くの市場から出荷を求められています。なかでもトルコギキョウの出荷量・販売額は県内一を誇っています。同協議会の大西勝視会長は、同協議会の概要や物流問題、担い手不足、従業員の高齢化など今後の課題や現状を説明。特に花は鮮度の良さが単価に直結するため、出荷の翌日に市場に届く運送便の確保が重要ですが、近年の物流の不安定さで確保が難しく安心して生産できる状況ではないことを伝えました。同協議会の川西邦夫さんは「以前のように」

Aしまねが一本化して運送便を立ててほしい。また、価格転嫁ができるのは都市部の市場への出荷のため、しつかり情報交換などを行い物流が途切れないように整備をお願いしたい」と要望しました。農事組合法人中国牧場は、現在牛舎10棟で肥育牛1,300頭、繁殖牛250頭を飼養した一貫生産の経営を行っています。また、新規の島根県有種雄牛産子の現場後代検定にも協力しています。将来的に畜産経営を目指す若い担い手も従業員として積極的に受け入れており、担い手育成の役割を果たしています。同法人の町谷修二代表は当J Aの肥育事業撤退に伴う事業承継について「関係者全員

で『奥出雲和牛』ブランドを守っていくんだ、より良くしていくんだという意識で取り組むが、J Aもあとは任せましたよではなく、一緒に汗をかく必要がある」と思いを伝えました。当J Aの竹下克美組合長は「いただいた意見を真摯に受け止め、J Aとして出来ることは全力で取り組んでいく。肥育センターの事業承継にはさまざまな課題があるが、ひとつひとつ確実に取り組んでいかないといけない」と応えました。また同日、地区本部運営委員会を開催し、新たな運営体制に関する意見交換も行いました。



令和7年度水稻生産者大会を開催

島根県と島根県農業振興協会、JAしまねは7月15日、出雲市で「環境に優しい持続可能な農業生産の実現に向けて」をテーマに令和7年度水稻生産者大会を開きました。生産者や県、JAの担当者ら約220人が参加しました。

基調講演では、滋賀県みらいの農業振興課の柳澤勇介主査が「滋賀県における環境こだわり農業の取組について」と題し、琵琶湖の水質改善から始まった「環境こだわり農産物認証制度」の取り組みや制度がもたらした環境への効果などについて講演しました。

また、島根県と島根県農業技術センター、当JAから環境保全型農業の取り組み報告や土づくり、イネカメムシ、米の情勢・需給などについて情報提供。そのうち、同センターは、高温条件下での品質確保の対策として、出穂期前の追肥や水管理、適期の刈り取りがポイントだと伝えました。

当JAの竹下克美組合長は「生産者の皆さまが丹精込めて栽培されたお米を1袋でも多くJAへ出荷いただきたい」と呼びかけました。



基調講演に耳を傾ける参加者ら



全日本ホルスタイン共進会に向けて指導会を開催！

県内の酪農家で組織するシマネ・ホルスタイン・クラブは、10月25、26日に北海道で開催される第16回全日本ホルスタイン共進会に向け、6月から定期的に、島根県立出雲農林高校の生徒を対象に指導会を開いています。

同共進会は、各都道府県から乳牛が集まる全国規模の品評会で、おおむね5年に1度の開催のため「乳牛のオリンピックピック」と呼ばれています。島根県からは3頭出品予定で、そのうち「高校特別枠」に同校から1頭出品します。

第1回目の指導会では、北海道からオールジャパンプリーダーズサービス株式会社の永田琢也さんを講師に招き、毛刈りの指導を行いました。永田さんは乳牛の背中の凹凸を確認した上でどれだけ毛を刈るか決めることや毛の整え方、共進会当日まで牛を引く練習を重ねることを生徒らに伝えました。

毛刈りの指導を受けた生徒は「毛の流れと逆向きにバリカンを入れ、ムラなく毛を刈ることが難しかった。初めて毛刈りを体験したが、アドバイス通りにできたと思う」と話しました。



永田さんから毛の刈り方を学ぶ生徒ら



令和7年度しまね夏の花展示会を開催

島根県花き生産者協議会とJAしまねは7月26、27日の2日間、出雲市のゆめタウン出雲で令和7年度しまね夏の花展示会を開きました。夏に生産するトルコギキョウやアスター、ケイトウ、菊など106点を展示。多くの人が訪れ、季節の色鮮やかな花を楽しみました。

初日は子どもたちに花に親しみを持ってもらおうとする花育活動の一環で、親子ミニブーケ作り体験教室を開催。子どもたちは好みの花を選び、スタッフから作り方を教わりながらブーケを完成させ笑顔を見せました。

また、花き生産に消費者目線を取り入れようと、来場者がお気に入りの花に投票するお花の人気投票を両日実施。投票者には先着300人にトルコギキョウやバラの花束をプレゼントしました。

投票をした来場者は「『ブルーフィズ』というトルコギキョウの花色がとても綺麗だった」と話しました。投票結果は、10月に開催する花のイベント「フラワーインしまね」で発表する予定です。



ミニブーケを作るため花を選ぶ親子連れ（右）



令和7年度島根県JA青年大会を開催 各部最優秀賞に出雲・正木さんと斐川・坪内さん

島根県農協青年組織協議会は7月31日、浜田市の島根県立大学で令和7年度島根県JA青年大会を開きました。青年の主張と組織活動実績発表の2部門で各青年組織から10人が発表。青年の主張の部で出雲青年連盟の正木原野さん、組織活動実績発表の部で斐川青年連盟の坪内雅さんが最優秀賞に輝きました。

正木さんは、就農して6年間で感じた農業の魅力や今後の課題、未来への想いを発表。「農業は地域と人を守りながら未来を作る仕事」という思いを持ち、子どもたちが将来的に農業をしようと思えるような感情や仕組みを作りたいと伝えました。

坪内さんは、主催する農業絵画コンクールなど斐川青年連盟の主な活動について発表。今後はさらに食農教育と農政活動を発展させ、地域農業を盛り上げていくと意気込みました。

正木さんと坪内さんは、11月に鳥取県で開かれる中国四国地区JA青年大会へ出場します。

入賞者は次のとおりです。

◆青年の主張の部

最優秀賞＝正木原野（出雲青年連盟）

優秀賞＝青木界人（西いわみ青年連盟）

◆組織活動実績発表の部

最優秀賞＝坪内 雅（斐川青年連盟）

優秀賞＝勝部聡史（隠岐青年連盟）



前列左から青木さん、正木さん、
同協議会の村上淳一会長、坪内さん、勝部さんら



青年組織協議会創立70周年！記念事業・式典を開催

島根県農協青年組織協議会は7月5日、出雲市の出雲ドームで創立70周年記念事業「Team SHIMANE マルシェ～農から広げる楽しいしまね～」を開きました。

記念事業のマルシェでは、同協議会で米の重量当てやスタンプラリーなどを行った他、各単組青年組織や外部団体（島根大学、出雲農林高校、出雲商業高校、商工会青年部）では、各地域の農畜産物や加工品などを販売。会場の各ブースには子どもから大人まで多くの人を訪れました。

その後、同市内で記念式典を開き、盟友や来賓ら113人が参加。創立70周年記念事業実行委員の福間裕紀委員長は「これからの10年に向かってさまざまな活動を行い、食農教育活動やメンバー間のコミュニケーションのさらなるボトムアップを図っていく」と意気込みました。

同協議会は1955年に県内81組織により誕生。現在は10組織632人の盟友らに支えられ活動しています。



青年連盟による販売ブースで野菜の詰め合わせを購入する来場者



JAしまね 前代表理事組合長 石川寿樹の逝去について

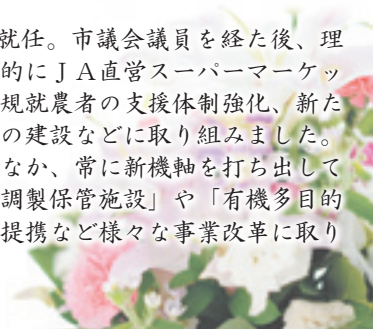
このたび、前代表理事組合長 石川寿樹が、令和7年8月9日に享年74で永眠いたしました。ここに謹んで哀悼の意を示すとともに、故人の主な略歴や業績等をご紹介します。

平成27年3月	島根県農業協同組合	出雲地区本部	常務理事副本部長
平成28年7月	島根県農業協同組合	出雲地区本部	常務理事本部長
令和元年6月	島根県農業協同組合		代表理事組合長

昭和52年に出雲市農業協同組合に職員として入組し、35歳の若さで常務理事に就任。市議会議員を経た後、理事や役員として長きにわたりJAの運営に携わってきました。その間、地域振興を目的にJA直営スーパーマーケット「ラビタ」の立ち上げや、ブドウやシタケなどのリースハウス事業を促進し新規就農者の支援体制強化、新たな農業スタイルの確立を目指し高度環境制御栽培施設「出雲やさしい新話ファーム」の建設などに取り組みました。

JAしまね代表理事組合長就任後は、農業やJAを取り巻く環境が厳しさを増すなか、常に新機軸を打ち出していく姿勢で、農機事業の県域会社化や県域施設・物流体制の整備として「広域玉葱調製保管施設」や「有機多目的倉庫」の建設、生産資材店舗の利便性向上に向け株式会社ジュンテンドーとの業務提携など様々な事業改革に取り組み、盤石な経営基盤の確立に寄与いたしました。

組合員の皆様には、生前のご厚誼に深く感謝し、厚く御礼申し上げます。



「おさいふカード」活用方法

貯める

JAしまねの店舗や
JAグリーンセンター、産直店舗や
ラピタでのお買い物や健診などでも！

●ラピタ、産直店舗でお買物

3万円／月の利用で**150ポイント**(150p)
さらにEdyで支払うと**150ポイント**が追加(150p)

●資材専用店舗でお買物

2万円／月の利用で**20ポイント**(10p)

●JA-SSで給油

6万円／月の利用で**10ポイント**(5p)

(注) JA-SSでは事前に「おさいふカード」を給油カードに紐付ける手続きが必要です。
詳しくはJA-SSまたは、支店窓口へお問い合わせください。



県内
Aコープ店でも

お買物で
『おさいふカード』
を提示すると
ご利用200円
(税抜)につき
1ポイントの
Aコープ
ポイントが！



ジュンテンドー
でも

年間購入金額
10,000円(税抜)
につき
30ポイント
(15p)

※おさいふカードと
いきいきカードの
連携登録が必要です。



JA島根厚生連
の健診でも

農業者・女性部健診
1回**70ポイント**
(70p)

担い手ドック

1回**120ポイント**
(120p)



『おさいふカード』のポイントに自動的に移行されます

給与振込も住宅ローンも貯金もJAで！

『おさいふカード』を提示しなくても自動的にポイントが貯まります。

●給与振込の指定口座 …… 年間**50ポイント**(25p)

●年金受給の指定口座 …… 年間**50ポイント**(25p)

●投資信託(残高100万円の場合) …… 年間**50ポイント**(25p)

●定期貯金(残高200万円の場合) …… 年間**100ポイント**(50p)

●住宅ローン(残高1,000万円の場合) …… 年間**800ポイント**(0p)

※()内のポイントはJAしまね組合員以外の方のポイント数です。



詳しくはこちらから



使う

『おさいふカード』でお買物！

貯まったポイントがお買物代金として1ポイント1円で使えます。

〈例〉買物代金／1,200円⇒1,000円を現金で、200円をポイントで支払う。



グリーンセンター、
JAグリーン、産直店舗



ラピタ、Aコープ



農機／自動車センター



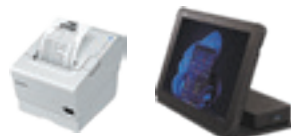
JA-SS

ポイント支払いできる店舗一覧は
こちら



ポイントをお買物券に交換！

JA店舗やAコープ各店に設置してある発券機から会員様の簡単な操作で500円券、または1,000円券に交換できます。



お買物券が使える店舗一覧はこちら



ポイントでJAしまねの特産品がもらえるよ！

「交換商品カタログ」の中からご希望の商品をポイントと交換できます。

〔商品の交換方法〕
支店窓口またはラピタ各店舗の他に、JAしまねHPからお申込みできます。



「おさいふカード」交換カタログは
こちら



ディスクロージャー誌掲載のお知らせ

ＪＡしまねは、情報開示を通じて経営の透明性を高めるとともに、当ＪＡに対するご理解を一層深めていただくために、令和６年度の主な事業の内容や組織概要、経営の内容について、利用者の皆さまのためにわかりやすくまとめたディスクロージャー誌2025を作成いたしました。

本誌につきましては、ＪＡしまねホームページに掲載しておりますので、皆さまが当ＪＡの事業をさらにご利用いただくための一助として、ぜひ一読いただきますようお願い申し上げます。

ディスクロージャー誌はこちらから



「家の光三誌」価格改定のお知らせ

用紙・印刷・輸送などにかかる経費の高騰により、ご購入者の皆さまには大変心苦しい限りですが、2025年9月号より価格を改定、また、各誌とも毎号の価格を統一させていただきます。これを機に編集内容をさらに充実させ、より皆さまのお役に立つ雑誌を目指して励んでまいります。

2025年9月号より

	定価(税込)	年間購読【前納】価格(税込)
家の光	900円	9,900円
地上	750円	8,250円
ちゃぐりん	600円	6,600円
やさい畑	1,100円	—

また、今年度より増刊号として家計簿のみの販売をいたします。なお、『家の光』12月号に別冊付録としては付きませんのでご了承ください。
詳細につきましてはＪＡにてご案内チラシを用意しております。



「牛乳絵画コンクール」募集のお知らせ

牛乳絵画コンクール 開催概要



主 催	島根トヨペット株式会社／島根県牛乳普及協会
名 称	牛乳絵画コンクール
開 催 目 的	牛乳のある風景を描いた作品を通じて、牛乳の魅力や地域とのつながりを発信する
応 募 資 格	島根県在住者（年齢制限なし）
テ ー マ	「牛乳のある風景」：牛乳を飲む・注ぐ・搾る場面、牛乳のイラストなど
作 品 規 定	はがきサイズ（100×148mm）片面、縦横自由、手描き・デジタル可（印刷して提出）
応 募 方 法	【作品郵送先】〒699-0111 島根県松江市東出雲町意宇南1-5-5 株式会社吉田写真堂「牛乳絵画コンクール」事務局宛
記 載 事 項	氏名（ペンネーム等の掲示名がある場合は併記）、年齢、住所、電話番号、作品タイトル 未成年の方のご応募の際は、保護者の氏名、連絡先電話番号を記載のこと
参 加 費	無料（郵送費は応募者負担）
募 集 期 間	2025年10月1日（水）～12月19日（金）
展 示 期 間	2026年1月10日（土）～2月15日（日）
展 示 場 所	島根トヨペット店舗にて展示、Web・SNSでも紹介予定
審 査	主催者による審査
表 彰 内 容	トヨペット店舗賞（7点）、メーカー賞（3点）、JAしまね賞（1点）、グランプリ（1点）
副 賞	乳製品詰合せ＋商品券
作品の取扱い	返却不可。著作権は応募者に帰属。主催者は広報・展示・Web掲載等に無償使用可能
個人情報の取扱い	展示時に作品タイトルと作者名（ペンネーム等）を掲示。個人情報は受賞連絡・賞品発送のみに使用





「元気な地域」も女性部の力で！

いわみ中央女性部



JA女性組織3カ年計画

『『あい♡』からはじまる『元気な地域』をみんなの力で』の実践初年度です。

助けあい♡

学びあい♡

育てあい♡

の3つの重点テーマを掲げ活動します。

また、JA共済連主催の「三遊亭遊馬師匠による交通安全落語」では、ユーモアあふれる語り口で会場が笑顔に包まれました。今後とも地域のつながりを大切に、地域の活性化と協同の輪の広がりを目指していきます。

JAしまねいわみ中央女性部では、組合員同士の絆を深めることを目的に、JAしまねと共に「JAふれあいの集い」を開催しています。2010年から当女性部が中心となり毎年開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の流行で中止を余儀なくされる状況が続きました。昨年度は、コロナ禍を経て4年振りに開催することができ、約90人が参加しました。



JA YOUTH

一所懸命青年連盟

JAしまねいわみ中央青年連盟

地産地消に取り組み、
農業を通じて、
地域に貢献していきたい

ふじもと
藤本

かずし
一志さん



JAしまねいわみ中央青年連盟（以下、農青連）の藤本一志さん（36）は、浜田市金城町で水稻を約6haで栽培し、就農して16年目になります。

高校卒業後、地元で製造業に就職しましたが、20歳の時に父親が亡くなり、分からないながら兼業農家からスタートしました。地域の人に教えてもらいながら農業を始め、将来的に農業で生計を立てていきたいと思い、3年前から地元の大型農家でもある農青連の先輩のもとで働きながら勉強をしています。今後は水稻を中心に規模拡大を目指しており、地域の農業を盛り上げていきたいと考えています。

農青連には、令和6年度に盟友から誘われ加入しました。加入後には、海外視察研修への参加や、令和7年度島根県JA青年大会では青年の主張の部で発表しました。藤本さんは「兼業農家として農業を始め、農業の楽しさを知った。農青連活動や自然の中で働く楽しさなどを発信していきたい、農業仲間が増えるように頑張りたい」と今後の意気込みを語りました。



ルッコラ(ロケット)

園芸研究家 成松 次郎
※関東南部以西の平たん地を
基準に記事を作成しています。

ピリッとした辛さとゴマの風味がおいしい

ゴマの香りとクレソンに似た辛さがあり、若く柔らかい葉はサラダや肉の付け合わせ、ピザのトッピングなどに使われます。茎の周辺に葉の直立する姿がロケットのように見えることから「ロケット」とも呼ばれています。

栽培時期

発芽適温は20～25度、生育には15～25度が適し、低温期は生育が衰えます。冬を除き、ほぼ周年栽培ができますが、盛夏期は遮光ネット(20%)を使った暑さ対策が必要です。春～秋まきでは30～40日で収穫できますが、晩秋まきでは収穫まで60日以上となります。霜には強くないので、不織布でべたがけをして防寒します。

品種

各社から「ルッコラ」または「ロケット」として販売されています。なお、ルッコラの野生種といわれるセルパチコには、葉が細くとがり香りが特に強い品種「ローマ」(トキタ種苗)もあります。

畑の準備

種まきまたは植え付け2週間前までに、1平方m当たり苦土石灰100gを菜園全体に散布し耕しておきます。1週間前までに堆肥1kgと化成肥料(NPK各成分10%)100gを全面に施し、土とよく混ぜておきます(図1)。ルッコラは野生に近く肥料が多いと香りが弱くなりがちです。

種まき

幅70～80cm、高さ5～10cmのベッドを作ります。次に、板切れなどで直角方向に幅20cm間隔の浅い種まき溝を作り、この溝に約1cm間隔に筋まきします(図2)。種は小さいので、種が隠れる程度(5、6mm)に薄く覆土します。不織布のべたがけで幼苗を保護しましょう(図3)。7～10日間隔にまき日をずらせば、長い間収穫を楽しめます。なお、苗作りをする場合は、128穴のセルトレーに1セル4、5粒を種まきし、発芽後は間引きして本葉約3枚の植え付け苗に仕上げます。苗は5、6cm間隔に植え付けます。

間引き・灌水(かんすい)

1回目は発芽後、葉が重ならない程度に順次間引き、2回目は本葉約2枚のときに5、6cmくらいにします(図4)。畑が乾燥すると葉が堅くなりやすいので、適宜灌水します。

病害虫の防除

周年にわたりキスジノミハムシ、コナガ、アオムシ、アブラムシの

被害を受けやすいので、目の細かい防虫ネットを使用したトンネル栽培がおすすめです。

収穫

葉が柔らかいうちの若取りが良く、葉の長さが20～25cmのときに収穫適期で、株ごと抜き取り(図5)。なお、外葉から1枚ずつ摘み取れば、長い間収穫を楽しめます。

図1 畑の準備



図2 種まき

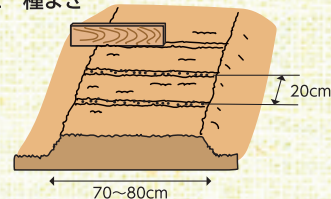


図3 ベタがけ

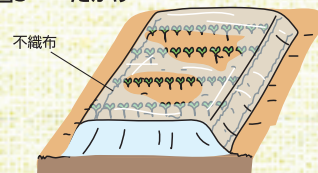


図4 間引き

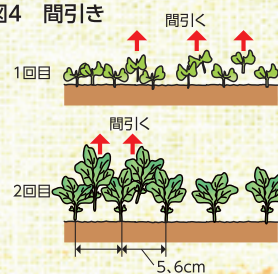


図5 収穫



栽培カレンダー ルッコラ(ロケット)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
冷涼地		● 春まき	— 生育	■ 収穫	● 夏まき	— 生育	■ 収穫	● 秋まき	— 生育	■ 収穫
中間地・暖地	● 春まき	— 生育	■ 収穫	● 夏まき	— 生育	■ 収穫		● 晩秋まき	— 生育	■ 収穫

● 種まき — 生育 ■ 収穫

「ベランダでも育てられる みんなのコンテナ栽培」

をJAしまねホームページで連載中です。今月は「サヤエンドウ」!



理事会情報 (8月25日開催)

【協議事項】

- ①令和8年度島根県農業政策及び予算に関する要望について(最終案)
- ②令和7年産島根米の諸条件の設定について
- ③令和7年産島根米の概算金単価の設定について
- ④令和7年産飼料用米の概算金単価の設定

について

- ⑤令和7年産米穀に係る概算金支出枠について
- ⑥自動車燃料事業の県域一体化について
- ⑦【JASTEMシステム基盤更改】県移行対策本部・県移行実施本部設置運営要領および危機管理計画書の策定について
- ⑧職制規定の一部改正について

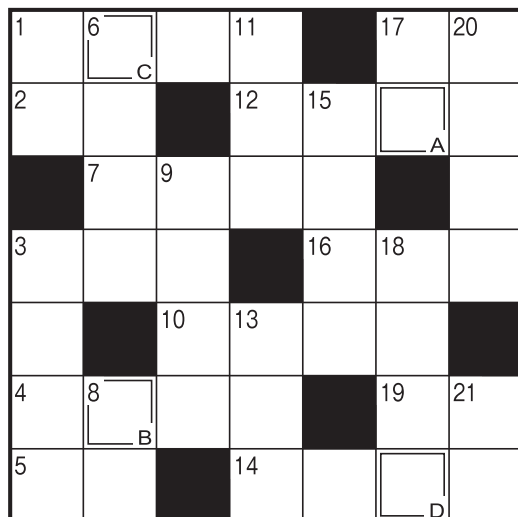
⑨大口貸出金の承認について①

- ⑩大口貸出金の承認について②
- ⑪コンプライアンス・マニュアルの改正について
- ⑫常勤理事の他の団体理事等への就任について
- ⑬人事ローテーション実施要項の一部改正について

Check!

クロスワード
パズル農協全国商品券も
もらっちゃおう!!二重マスの文字をA～Dの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコリ



答え

A	B	C	D
---	---	---	---

タデのカギ

- ①お代はいただきます
- ③転職をしたいが、いざとなると——を踏んでしまう
- ⑥金箔の生産量第1位の市がある都道府県
- ⑧皿を数えるときに使う言葉
- ⑨あえるとパスタが黒くなります
- ⑪落ち葉をかき集める道具
- ⑬ハロウィーンの日に楽しむ人もいます
- ⑮役場で——証明を取ってきた
- ⑰薪割りに使う刃物
- ⑲事件はあつけない——を迎えた
- ⑳写生をこうもいいます
- ㉑動物や鳥などの集団

ヨコのカギ

- ①10月の第2月曜日はスポーツの日。以前は——の日でした
- ②祭りのときに引く車
- ③——雨だよ、すぐに止むさ
- ④塩分濃度は低め、麴の割合は高めな味噌
- ⑤ドングリがなる木の一種
- ⑦彼女は免許——の腕前だ
- ⑩悪臭を放つことで知られる動物
- ⑫傘がたくさん重なった形の食用キノコ
- ⑭ハワイアンの演奏にも使われる弦楽器
- ⑯玄関の上がり——に腰かけて話した
- ⑰秋にもおいしい紫色の野菜
- ⑲教育、勤労、納税は国民の三大——です

応募要項

● 応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。右記の二次元コードからもご応募いただけます。



● 賞品

正解者の中から抽選で30名（JAしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

● 当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

● 宛先・締切

〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町681番地3
JAしまね 隠岐地区本部 「クイズ」係
2025年10月3日（金）（当日消印有効）

◆ 先月号の答え ◆

「ラツカセイ」

ケ	イ	ロ	ウ	シ	デ
シ	ー	ツ	シ	ロ	ミ
キ	コ	シ	ク	セ	
カ	ツ	ラ	ハ	マ	
カ	ン	キ	ク	ダ	
モ	ト	ネ	ジ	ナン	
ク	ウ	ジ	ユ	ツ	ゴ

佳作

ブロック屏にしがみつきたる蟬の空
帰省子の先づ故郷の水を飲む
腰据へて金魚掬ひの巧みなる
終戦日軽き思い出語る父
空つかむ入道雲の力瘤

安来市 斎藤美重子様
出雲市 藤江 亮様
邑南町 山塚 豊子様
浜田市 小川美砂子様
兵庫県 小田 和子様

優秀賞

舞ひ終へて恵比寿の面の下は汗

浜田市 三沢 孝子様

採算のとれぬぶどうの袋かけ

津和野町 田中とよし様

枇杷の実を採ってほとんどおすそわけ

松江市 横山 麻里様

最優秀賞

愛犬の背中に日傘そつとさし

出雲市 加地 良子様

俳句の広場

選句者「白魚火」編集長・副主宰
安食彰彦先生

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひ応募ください！
ご購入はお近くのJAへお問合せください。



JAしまねびよりには、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）10月号は川柳を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。
※応募作品は自作で未発表のものに限りです。
※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1
JAしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX：0852-67-7708
Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

【お詫びと訂正】 広報誌「JAしまねびより8月号」13ページにおきまして、誤りがございましたので、お詫びし訂正いたします。

P13、「隠岐地区本部 総代・地区本部運営委員・支店運営委員」名簿

第4区 支店運営委員 【誤】新見芳樹（中村） → 【正】新見喜樹（中村）

JAバンクを装う偽メールに注意!!

JAバンクを装いアナタの大切な“**お金**”や“**情報**”を狙う**偽メール**が
島根県内で多数確認されています!!

手口は『**JAネットバンク**』や『**JAバンク**』など**実在する金融機関名**などを使い
アナタの**個人情報**などを不正に盗み取ります!!

⚠ 怪しいメール内容の一例

- 『**期限**』を設けている内容のメール
- 『**専用ページ**』へ誘導する内容のメール



※ 携帯電話に届いたメールの内容が少しでも怪しいと感じたら、そのメールの指示に従わずご家族や最寄りのJAにご相談ください。



©よりぞう



お問合せ先



JAネットバンク ヘルプデスク

0120-058-098

緊急時の利用停止 24時間365日

平日 9:00~21:00

土日祝 9:00~17:00



※ 個人情報等を入力してしまった場合、速やかにお取引のJA店舗またはJAネットバンク ヘルプデスクにご連絡いただき、JAネットバンクの利用を停止してください。

あれ?
こんな時に限って
お薬がない...

そんな時のために
**備えて安心。
いつでも便利。**

クミアイ家庭薬です。



協同薬品工業株式会社

〒699-0631

島根県出雲市斐川町直江3951-1

島根営業所

お問い合わせ先 平日 9時～17時

TEL (0853) 25-9166

JAしまね 事業承継セミナー

農業者にとって「誰でもいつかは事業承継」に向き合わなければならない時がやって来ます。

事業承継について、過去の失敗事例を通して譲る側、譲られる側双方が円滑に事業承継を進めていくためにやるべきこと、心構えについてわかりやすく学んでいただきます。

開催日時・会場

日時：令和7年11月27日（木） 13:00～15:30 ※途中退出可

第一部（13:00-14:30）：講義

第二部（14:40-15:30）：事業承継計画の策定、個別相談等

※内容は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

会場：下記のいずれかでお申込ください。

①メイン会場：JAしまね 本店 斐川事務所（営農経済本店）
2階会議室（出雲市斐川町直江5030）

②WEB会場：JAしまね 各地区本部会議室
（詳細は後日ご連絡いたします）

対象者

事業承継を考えている農業経営者、後継者および候補者の方等どなたでも参加いただけます。

参加費無料

主催

島根県農業協同組合
農林中央金庫 岡山支店



講師

●株式会社後継者の学校代表取締役
●中小企業診断士

大川原 基剛 氏



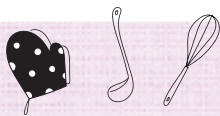
■参加申込に関するお問い合わせ先■

島根県農業協同組合 営農対策部 営農企画課

TEL：0853-25-8142 FAX：0853-25-8594

E-mail：ei-kikaku.hon@ja-shimane.gr.jp

提出いただいた個人情報は、当セミナーに必要な範囲でのみ使用いたします。



島根うまれの食材レシピしまねうレシピ

島根県『家の光』講師
飯塚生美子 先生

なすと豚肉の甘辛みそ炒め

材料（4人分）

豚ミンチ……………200g
 なす……………3本（450g）
 しめじ……………1袋
 小松菜……………1/2束（100g）
 ごま油……………大さじ2
 A 焼肉のたれ……………大さじ3
 みそ……………大さじ1
 片栗粉……………大さじ1強
 水……………200cc

コメント

- ・みそを加えることで深みが増し、いつもと一味違う甘辛さを味わえます。
- ・ご飯の上にのせても美味しい一品です！

作り方

- ①なすは一口大に切り、水につけて水気をきる。
- ②しめじは石づきを取って、小房に分ける。
- ③小松菜は長さ2～3cmに切る。
- ④フライパンにごま油を入れ、①のなすを加え、表面に油を絡めてからフライパンを強火で熱し、パチパチ音がしてきたらしめじも加えて炒めて火を通し、一度取り出しておく。
- ⑤同じフライパンに豚肉を入れて色が変わるまで中火で炒める。
- ⑥④のなすとしめじ、小松菜を加えて炒め、小松菜がしんなりしたら、混ぜ合わせたAを加えてとろみがつくまで炒め合わせる。



アレンジ

- ・豆板醤やラー油を加えてピリ辛味の大人味に！
- ・なすだけでなく、もやしやにんじん、キャベツ、しいたけなどさまざまな野菜やキノコと組み合わせてもOK！

しゃぶしゃぶサラダ

材料（4人分）

豚しゃぶ用薄切り肉…150g
 酒……………大さじ2
 塩……………小さじ1
 きゅうり……………1本（120g）
 トマト……………1個（180g）
 レタス……………1袋（100g）
 粒コーン……………大さじ2
 A すし酢……………大さじ3
 薄口しょうゆ……………小さじ2
 オリーブ油……………大さじ1.5

コメント

- ・きゅうりを入れてしばらく置くことで、野菜の旨味を含んだドレッシングが出来上がります。
- ・しゃぶしゃぶは水につけて冷やすと水っぽくなるので時間があればざるにあげ、そのまま冷ますと良いです。

作り方

- ①鍋に水1リットルと塩を入れ、沸騰させる。
- ②ゆでる直前に酒を加え、肉を4～5枚ずつ鍋に入れてほぐすようにして火を通し、色が変わったらざるに取る。残りも同様に火を通す。
- ③ボウルにAを混ぜ合わせ、そこにきゅうりをスライスして加えてひと混ぜし、しばらく置く。（10分間くらい）
- ④ボウルに②の豚肉を加え、しっかり混ぜ合わせる。
- ⑤トマトを一口大に切り、④のボウルに入れひと混ぜする。
- ⑥皿にレタスをちぎって広げ置き、その上に混ぜ合わせた⑤を盛る。
- ⑦最後に粒コーンを飾る。



アレンジ

- ・ゆでた鍋のアクを取り、たまねぎ、じゃがいもなど野菜を切っただけで、塩と薄口しょうゆで調味すればスープに！
- ・サラダに加える野菜は、たまねぎ、ズッキーニ、かいわれ、水菜、ブロッコリーなど何でもOK！

JA 島根厚生連

健康散歩

生活活動に一工夫を

日常生活でどのくらい動いていますか。一言で「動く（活動する）」と言っても、「スポーツで体を動かしている」という方もいれば、「仕事では体を動かすが、運動は全くしない」という方、「机に座っていることがほとんどで、日中は全く動かない」という方など、活動量は人それぞれだと思います。厚生労働省がまとめた「健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023」では、安静にしている状態よりも多くのエネルギーを消費する動作を「身体活動」と定義しています。また、身体活動は日常生活における労働や家事などの「生活活動」と、健康や体力の維持・向上を目的として、意図的に実施するスポーツなどの「運動」の2つに分けられています。

身体活動量が多い人は少ない人と比べて、心疾患、高血圧、2型糖尿病、肥満、がん、認知症などの発症リスクが低いことが報告されています。また、身体活動によって、うつや不安の症状が軽減され、メンタルヘルスや生活の質が改善するという報告もあります。しかし、近年は身体活動量が低下傾向にあります。要因として、「機械化・自動化の進展や新型コロナウイルス感染症の感染拡大により働き方や生活環境が大きく変化し、移動・歩行機会が減少したこと」などがあげ

られます。ただ、既に述べたように身体活動により疾病の発症リスク低減などのメリットが得られるため、日常の中で身体活動量が増えるような取り組みを行うことが重要です。

身体活動量を増やす際に基本となる考えは「座りすぎを避け、じっとしている時間が長くなりすぎないようにし、今より少しでも体を動かすようにする」です。しかし、実際には運動する時間を取れないという方も多いです。そのため、運動だけでなく、早く歩く、階段を上るといった動作や家事なども「生活活動」として身体活動に分類されるため、この生活活動をうまく増やすことがポイントです。例えば、テレビやスマホなどを見て座りっぱなしになるのではなく、時々立ち上がって体を動かしましょう。お出かけの際は徒歩や自転車移動してみたり、普段とは違う道を使って移動時間を増やしたりすることも良いでしょう。

無理をしても長続きはしません。無理のない範囲で少しずつ積み重ねることが長続きの秘訣です。健康で豊かな生活を続けるために、身体活動量を今より少しでも増やせるように取り組んでみませんか。

